



Bベテル通信

2021年5月号（第214号）

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL089-925-5000

ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>

遠出できなくても耳から山にいる気分を味わいませんか

こんにちは。

私にとって5月は、まばゆいばかりの新緑が気持ちをフレッシュにしてくれるので好きな月の一つです。

以前、ベテル通信で山にまつわるエピソードを書かせていただいたことがあるのですが、私は子供のころの新緑の季節はよく親に連れられて、タラの芽取りなどよく山に遊びに行っていました。梅雨に入る前のカラッとした過ごしやすいつきの石鎚なども、本当に清々しい気持ちになれました。そんな子供時代があったおかげで、学生時代に山岳サークルに入って仲間と一緒に行動する面白さを体験することができました。社会人になってからはごくまれにしか登れていませんが、時間がなくても「また登りたいなあ」と空想するだけで気持ちが少しなごみます。

ですがこのコロナ禍で、この1年行動範囲が本当に狭くなった状況が続いています。私の周辺でも学会や院外の仕事はリモートばかりですし、同じ景色、同じ眺めばかりでやや重たい気分になっている方も多いのではないのでしょうか。

私のように自然は好きだけど思い切って遠くに行けないとか、または体の具合で山の自然と触れ合うことがなかなかできにくいという方に、登山気分が味わえるいいラジオ番組があります。それは、NHKのラジオ第1で、毎週土曜午前8時05分から放送されている「石丸謙二郎の山カフェ」です。山が好きなら初心者でも上級者も関係なく、楽しめる番組かなと思います。石丸さんがマスターを務める山のカフェにゲスト（作家、俳優などが多いのですがさまざまジャンルの人が登場します。共通しているのは山好きであること）が来るという設定で、ゲストが山との思い出を語ったり、時には山小屋から中継があったりもします。そのときどきのテーマにもよりますが、山の雰囲気や山好きの面白いお話が聞けてなかなか楽しめる番組です。土曜の朝ゆっくりできるひとときがあるとき、山や自然に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



（がん看護専門看護師 上杉 和美）



茨木のり子の詩に魅せられて

極く最近偶然に、茨木のり子（1926年～2006年）の詩と出会い、読むうちにぐいぐい引き込まれて行きました。誰にでも読み易い詩で、「現代詩の長女」と呼ばれ、谷川俊太郎とは盟友でした。青春を戦争の渦中で過ごしましたが、回りに流されず自分の生き方を常に見つめた凛とした清冽な詩が多いです。二十五年間連れ添った夫にも深い愛を注ぎ、夫の死後にも夫を思う詩作が多いです（遺稿集「歲月」）。

自分の感受性くらい

ばさばさに乾いてゆく心を
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠っておいて

気難しくなってきたのを
友人のせいにはするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか

苛立つのを
近親のせいにはするな
なにかも下手だったのはわたくし

初心消えかかるのを
暮らしのせいにはするな
そもそもが ひよわな志にすぎなかった

駄目なことの中には
時代のせいにはするな
わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい
自分で守れ
ばかものよ

歲月

真実を見きわめるのに
二十五年という歲月は短かったでしょう
九十歳のあなたを想定してみ
八十歳のわたしを想定してみ
どちらかが疲れはて
どちらかが二人ともそう
あるいは二人ともそう
わけもわからず憎みあっている姿が
ちらつとよぎる



あるいはまた
ふんわりとした翁と媼になつて

もう行きましよう

互いに首を締めようとして
その力さえなく尻餅なんかついている姿

けれど
歲月だけでは無いでしょう

たつた一日つきの
稲妻のような真実を

抱きしめて生き抜いている人もいますもの

言いたくない言葉

心の底に 強い圧力をかけて
蔵つてある言葉

声に出せば

文字に記せば
たちまちに色褪せるだろう

それによつて

私が立つところのもの

それによつて
私が生かしめられているところの思念

人に伝えようとすれば

あまりに平凡すぎて
けつして伝わってはいかないだろう

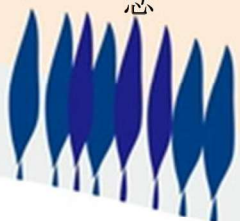
その人の氣圧のなかでしか
生きられぬ言葉もある

一本の蠟燭のように

熾烈に燃えろ 燃えつきろ

自分勝手に
誰の目にもふれずに

岩波文庫「茨木のり子詩集」 谷川俊太郎選より引用



（ ホスピス・内科医師 佐々木 徹 ）



訪問看護ステーション ベテルと
ベテル三番町クリニック デイケアセンターでの

言語聴覚士によるリハビリが始まりました！

言語聴覚士(ST)－Speech Language Hearing Therapist－

言語聴覚士はコミュニケーションや飲み込みに障がいのある方に検査・訓練・指導・支援を行い、より良い生活を送っていただけるよう支援する専門職です。「食べること」や「話すこと」は生活の中でとても大切ですが、脳血管障害、神経難病などからこれらが障がいされてしまうことがあります。言語聴覚士(ST)はこのような障がいに対し、検査や訓練を通じてコミュニケーションへの支援や、誤嚥性肺炎の予防、安全なお食事の支援を行っています。

こんな事ありませんか？ ぜひご相談ください！



- ・喉にひっかかるなあ・・・
- ・なかなか飲み込めないぞ・・・
- ・最近よくムセるわ・・・
- ・食欲もないし・・・



- ・言いたいことが伝わりにくい・・・
- ・上手く話せない・・・



発声、構音検査（発音の検査）、失語症検査、嚥下機能検査（飲み込みの検査）や嚥下造影検査を行い、ご利用者それぞれに適した個別のリハビリをご提案させていただきます。



失語症検査の様子



パソコンを使った代替コミュニケーション支援の様子



嚥下造影検査



対象疾患例：脳梗塞後遺症による構音障害、失語症、高次脳機能障害
神経難病（パーキンソン病、進行性核上性麻痺、ALS 等）
誤嚥性肺炎 等

医療法人 聖愛会

ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>

〒790-0003 松山市三番町3丁目4番地12



★訪問看護ステーション ベテル

TEL 089-935-7746

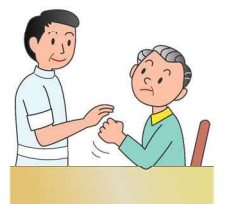
089-935-7747

FAX 089-935-7749

★ベテル三番町クリニック デイケアセンター

TEL 089-935-7745

FAX 089-935-7749



（言語聴覚士 菊池 真司）

外来診療日のお知らせ

◎ 豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）

5月19日（水）

◎ 多田 聡 医師（神経内科）

5月13日（木）、5月27日（木）

◎ 細川 裕子 医師（神経内科）

5月6日（木）、5月20日（木）

◎ 奥村 淳子 医師（内科）

5月より診察日を金曜日から水曜日に変更いたします

◎ 大西 哲史 医師（内科）

毎週火曜日と金曜日に診療いたします

月曜日午後の漢方外来は引き続き休診いたします



新任医師紹介

ほそかわ ゆうこ

細川 裕子 医師

診療科目：神経内科

得意分野：神経内科

出身大学：愛媛大学

プロフィール

- <出身地> 愛媛県大洲市
- <趣味> サックス、ピアノ演奏、音楽鑑賞
- <略歴>
- 2017年 済生会松山病院研修医
- 2019年 愛媛大学附属病院臨床薬理神経内科専攻医
- 2021年 済生会松山病院脳神経内科医員

この度、神経内科医師として勤務させていただくことになりました細川裕子です。神経疾患を中心に診療させていただきます。神経内科外来を2週に1回担当させていただくことになりましたので、これまで隔週だった神経内科外来は毎週となります。患者さんに寄り添った丁寧な診療を心掛け、患者さんとともに自分も成長できるように努力したいと思います。よろしくお願いいたします。

 葉桜や 医な仁術に 助けられ (平山 恵川)	エントランス 客待つ象の やさしい目 (玉仙)	春惜しむ 病窓に映る 桜吹雪 (藤本 加奈子)	春墓参 生きた同志で にぎり寿司 (平岡 恵行)	男の子の名 雄々しはためく 武者幟 (野中 政彦)	ベテル旬会 
---	--	--	---	--	--

投句箱は受付・各病棟に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。

『ベテル通信』についてのご意見やご要望はご意見箱へお願いします。

掲載中の写真についてはご本人様の許可を得ています。

発行日 2021年4月23日